

# 平成31年度 薩摩川内市民まちづくり公社事業報告書

本公社は、これまでその設立目的に沿って市民の皆様の生涯学習の推進と福祉の向上に寄与する事業を実施して参りました。

平成31年度は指定管理受託施設に係る人件費について、運営補助金から指定管理料への移し替えと、これまでの精算方式が解除されて2期目となり、施設の利益積立ての使途を含め、より一層、自立した運営が求められるようになりました。

公益財団法人として薩摩川内市と連携を強化しながら、指定管理の協定及び契約に基づき適切に管理運営に取り組んできた功績が評価ともなり、令和元年12月には薩摩川内市女性活躍推進企業として認定表彰を受けました。

令和2年になり、新型コロナウイルス感染症の拡大によって管理受託施設の利用、及び生涯学習等の諸事業について利用制限や中止を余儀なくされていますが、平成31年度に実施した事業の概要は、次のとおりです。

## I 公益目的事業

### 1 受託施設管理事業

平成31年度の受託施設管理事業につきましては、指定管理者制度等に基づき、薩摩川内市から管理受託する文化施設、社会体育施設等の公共施設の管理運営を実施しました。

川内文化ホール、入来文化ホール、川内歴史資料館、川内まごころ文学館、せんだい宇宙館、サンアリーナせんだい等の集客施設においては、施設の安全点検はもとより、消防・防災訓練を実施して緊急時の利用者の安全誘導等に心掛けるとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策にも取り組みました。

併せて、普通救命講習会への参加や各種実務研修の受講のほか、全職員を対象とした職場づくりに関する理事長講話や研修、管理職員を対象としたイクボスによる働き方改革研修を実施し、職員の資質向上に努めました。

公園等の施設管理については、安全で快適な利用を図るため、日常的に設備や遊具の点検を実施するとともに、施設の維持・修繕、清掃、花壇の管理、樹木剪定、芝刈り等を効率的に実施しました。

なお、抜本的な改修等が必要な管理施設については、市の主管課へ報告・協議を行い必要な対応に努めました。

また、各施設において利用者満足度調査等を実施し、利用者の意見等を踏まえながらよりよい施設の管理運営に努めて参りました。

年度末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大にともなう施設利用への影響が広がる中、受託施設で実施した主な管理事業及び利用状況は、次のとおりです。

#### (1) 薩摩川内市川内文化ホール

大ホール及び会議室関係の利用について、年内は堅調な利用が続きましたが、年度末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、全体的な利用件数は前年を3.1%下回ったものの、利用者数については127,804人となり、前年比2.3%の増でした。

#### (2) 薩摩川内市入来文化ホール

国体のプレ大会等があり、ホール・別館ともに利用が堅調に推移していましたが、年度末にかけて新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用件数507件、利用者数11,749人となり、前年比21.4%の減となりました。

#### (3) 薩摩川内市川内歴史資料館

島津義弘没後400年に併せ、戦国時代の島津氏と薩摩川内の関わりを紹介した特別展「南九州の雄 島津氏～戦国時代の薩摩川内～」を開催しました。また、特別展に関連したトピック展示や講演会、歴史講座等を開催し、年間を通して戦国時代の郷土を紹介し、集客を図りました。

夏期には、新元号「令和」への改元を記念したパネル展「元号の歴史と万葉の散歩道」、終戦記念展示コーナー「記憶をつなぐー戦争と郷土ー」を開催しました。そのほか、工作教室、出前講座等を実施し集客に努めました。

薩摩国分寺跡史跡公園、横岡古墳公園については園内巡回や樹木剪定、除草、施設等の美化に努めました。

年間をとおして多くの事業を実施しましたが、年度末にかけて新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う入館者制限などもあり、入館者数は7,411人となり前年比4.8%の減となりました。

#### (4) 薩摩川内市川内まごころ文学館

令和への改元に併せて、里見弴による皇族との思い出を紹介したトピック展「里見弴の随筆『五代の民』－“皇統五代にわたる方々”との思い出ー」を開催したほか、里見弴生誕記念展示では、弴と交流のあった人々を収蔵原稿とともに紹介した「里見弴交友録」などを開催しました。

また、本市出身である山本實彦が創業した改造社から出版された総合雑誌『改造』が創刊されて100年となることから、特別企画展「THE KAIZO 100<sup>th</sup> ～改造社と作家たち～」を年度末から開催しました。

また、好評のまごころ文芸講座、名作シネマ上映会、まごころ児童絵画展など、年間をとおして多くの事業を実施し集客に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、入館者数は8,568人となり前年比16.1%の減となりました。

#### (5) 薩摩川内市寺山いこいの広場

施設内の設備や遊具などの安全管理に努めるとともに、シルバー人材センター

を活用しながら、花壇の管理や公園内の草刈等を実施し、利用者に親しまれる公園づくりに努めました。また、寺山レストランやゴーカートとの連携を図り集客に努めました。

施設利用者数は123,798人で前年比5.2%の減となりました。

#### **(6) 薩摩川内市せんだい宇宙館**

寺山こどもの日フェスタ、寺山秋まつり、企画展「ソラのノリモノ展」、などの受託事業を実施し集客に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために入館制限やイベント自粛等が影響し、前年比3.7%減の11,375人となりました。

#### **(7) 各種公園緑地等の管理**

各種公園緑地等については、設備、遊具、樹木、芝、雑草の状態等の点検を日常的に実施して、受託施設の維持・補修を実施しました。また公園の大木等については、年度別に計画的に本格的剪定を実施しました。更に、継続的管理が必要な施設については、従来どおりシルバー人材センターを活用しました。

#### **(8) 体育施設の管理**

体育施設の利用状況は、サンアリーナせんだいの利用実績が271,224人で前年比24.2%の増加となりました。全国高等学校総合体育大会（インターハイ）バスケットボール競技をはじめ、国民体育大会のプレ大会等が実施されたことが一因です。

なお、総合運動公園全体での利用者数は、市民運動会の中止、新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう大会自粛等が影響し、418,453人の利用となり、前年比411人の微増となりました。

また、御陵下公園施設及び屋外運動場照明施設の利用者数は、前年度の御陵下公園野球場の改修工事にとともなう利用制限が解除されたことで、5.4%増加し、72,515人となりました。

#### **(9) 薩摩川内市立中央図書館の運営**

薩摩川内市立中央図書館の平日・土曜・休日の運営、貸出、返本受付のほか、おはなし会や映画会、教養講座などを実施し集客に努めました。

平成31度の図書館利用者数は、平日昼間が41,026人、土曜・休日が35,979人、夜間が21,353人、合計で98,358人となり、前年比1.0%の減となりました。

これら施設の管理運営のための直接経費として、485,335,695円を支出しました。

## 2 芸術文化・スポーツ振興事業

本社の設立当初から、川内文化ホール等を活用した芸術文化振興事業をとおして、市民への芸術・文化事業の鑑賞の機会を提供し、市民文化の高揚を図って参りました。

しかし、令和2年12月で川内文化ホール大ホールの利用が終了することとなり、薩摩川内市教育委員会との共催によるエンディング事業として、天孫降臨を題材とした市民参加型ミュージカル「天孫降臨～神々の秘密～」を企画し、実施に向けた取り組みを始めました。

本年度はプレ事業として、脚本の制作、ミュージカルワークショップ及び出演者のオーディションの開催、ならびに、本公演に向けた稽古等を行いました。

芸術文化振興事業費では、5,970,491円の事業経費に対し、市から補助予定額6,000,000円の交付を受けていましたが、29,509円を精算返納しました。

## 3 いきいき生涯学習事業

8月18日（日）、川内文化ホールにおいて、音楽・ダンスに親しみ活動している幅広い年代のアマチュアの団体や個人を対象に、川内文化ホールステージでの発表機会を提供し、その育成と文化の振興に寄与することを目的に、「サマーミュージックフェスティバル in 薩摩川内」を開催しました。

出演者は14組86人、入場者数377人でした。

また、10月22日（火・祝）にはサンアリーナせんだいにおいて、スポーツ振興を目的として「まちづくり公社杯ソフトバレーボール大会」を開催しました。

30チーム152名の参加がありました。なかでも、70歳以上の参加者が14名あり、生涯スポーツの振興を図ることができました。

その他、各管理施設等において、夏休み書道教室、フレスコ画体験、中国茶道体験フラワーアレンジメント教室などの生涯学習事業を実施しました。

以上、生涯学習関連の自主事業経費は、2,332,269円となりました。

## 4 花と緑のまちづくり事業

総合運動公園、御陵下公園・泰平寺公園などで除草、花壇やプランターの花苗の植栽、管理まで実施していただいたボランティア団体の活動を支援し、環境美化に努めました。

## 5 キラキラ寺山事業

寺山の各施設が連携しながら、寺山いこいの広場全体の利用拡大に努めました。せんだい宇宙館では、宇宙・天体に興味を持ってもらうため、市民星空観望会、流星群観察会、夏休み科学工作等の催しを実施して学習、集客に努めました。

また、市教育委員会及び少年自然の家事業とも連携協力し、市内の小学校等に出向いての出張観望会、工作教室等を実施しました。

## 6 サービス事業

受託施設への公衆電話の設置や各管理施設でのコピーサービスなど施設利用者の利便を図りました。

## 7 広報宣伝事業

公社の自主事業や管理施設での行事予定、また事業結果等について、公社広報誌「アクスタイム」、南日本新聞折り込みチラシ「南日本家庭メモ」の裏面活用による「アクスタイム情報」、公社ホームページ、SNS 等による広報宣伝を実施しました。

また、薩摩川内市の広報紙「広報薩摩川内」、新聞、FM さつませんだい、各種情報誌を活用し情報発信に努めました。

## 8 まちづくり交流事業

ボランティア団体等の活動拠点として川内文化ホールに設置された、「まちづくり交流センター」を運営するとともに、公社ホームページ内に交流センター登録団体の紹介ページを設けてボランティア活動への参加を呼びかけました。

利用者数は延べ36人、前年比84%の減となりました。

## II 収益事業

### 販売事業

施設利用者等の利便を図るため、サンアリーナせんだい売店経営ほか、せんだい宇宙館でのグッズ販売、管理施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置運営し、その収益については公益目的事業を実施するための財源として活用しました。

自動販売機の設置管理事業・売店事業では、13,745,091円の収益に対して経費が11,395,883円となり2,349,208円の黒字となっています。

## III 事務局

### 事務局の管理運営

事務局の運営については、川内文化ホール内に事務所を置き、本公社の事業活動の要として、その円滑な実施のための事務を執行いたしました。

## 終わりに

本会社では、これまで生涯学習・芸術文化・スポーツ振興等に係る公益目的事業を推進するため、市と連携しながら市民の皆様へ生涯学習の機会や質の高い芸術文化・スポーツに触れる機会を提供するとともに、施設の利活用を図って参りました。

今後も市民のニーズへの積極的な対応とともに、「安全・安心・快適」なサービスを提供し、更に市民の皆様にご喜ばれる事業を実施するなど市民福祉の向上に努めて参ります。